



ホームページ更新中

エピソード30 「子育て5(ファイブ)」

～「受け入れる」「耳を傾ける」「寄り添う」「見守る」「待つ」～

校長 若松 剛志



5年生の社会科の学習で学びますが、木材は出荷するまで苗を植えてから50年の年月が必要です。

野菜の苗は、植えてから収穫するまで数十日待たなければなりません。

子育てにも時間が必要です。

現代は、スマホ時代です。何でもすぐ調べられ、スマホで予約すれば待ち時間の無駄を省けるという効率化の時代です。

子育ては、これとは相反する営みです。「待つ」ことが肝要になります。

子供が何人もいて朝から戦場のような忙しさなのに「待つ」なんて悠長なことにはできないと思われるかもしれませんが。

日々、子育てに追われながらもわずかな成長の跡を感じ取り、見守り、親子で成長することが子育てだと思えます。

「待つ」ことは人間の成長の必須条件です。十分な睡眠をとることで、体と心の回復を待ち、人は成長していきます。

勉強できるようになることを「待つ」とは、意味合いが違います。これは、やらなければ力が付くわけがありません。

ありのままの現状を「受け入れ」、子供にしっかりと「寄り添い」、愛情深く「見守る」ことに時間をかけて、親子の大切な時間を豊かなものにしてほしいと思えます。

「待つ」ことは難しい。口を出したいところをぐっとこらえて、一考するようにする葛藤の日々も大切だと思えます。

劇って楽しいね!～文化芸術による子どもの育成推進事業～

11月30日(木)

子ども育成推進事業の一環で、劇団道化のによる「のらペンギンのペンじろう」が上演されました。

劇のはじめに、6年生4名がMCとカンペ役をして、劇を盛り上げてくれました。また、旭教諭と牧野教諭がお芝居の手伝いをしたり、岡富教諭が劇に登場したりして、子供たちも大いに楽しんでいました。

猫のサスケとペンギンのペンじろう。まったく違う一匹と一羽ですが、最後は友達に。お腹を抱えるほどたくさん笑っていましたが、劇を通して、友達が自分にとってどのような存在であるのかを改めて考え直すことができたのではないかと思います。

鑑賞して「自分も演じてみたいなあ。」と、演じることに興味をもった人もいたようです。これからいろいろな芸術に触れ、心を豊かな「原田っ子」になることを期待します。



原田をきれいに!!～ゴミ0大作戦～

12月7日(木)

掃除の時間を使って、学校周辺の清掃を行いました。正門や学校近くにある青少年館、森神社の周辺など、普段と違う場所の清掃は、新鮮な気持ちで活動にも取り組めたようです。

落ち葉を掃き、側溝の泥を上げたり、ゴミを拾ったりと、短い時間でしたが、全員が一生懸命取り組み、とても綺麗になりました。

これを機会に、普段から自分たちの身近なところを綺麗にする気持ちや積極的にボランティアに参加する気持ちをもってほしいと思います。

また、学校での清掃時間も、時間いっぱい隅々まで綺麗にしようという気持ちをもって取り組んでいきたいと思います。全員が「原田をきれいに!!」という気持ちをもって、これからも自分たちが住んでいる原田校区や原田小を綺麗にしていきますね。



7口の歌声って最高!～宮井紀行コンサート～

12月11日(月)

鹿児島を拠点に全国で活躍しているプロのシンガーソングライター宮井紀行さんのコンサートがありました。コマーシャルやイメージソングなど、知っている歌の時は口ずさむ姿も。職員も子供たちもリズムに合わせて体を動かしたり、手拍子したりして、全員が一つになって盛り上がりました。歌声やトークに魅了されあつという間の1時間。当日は給食の時間も宮井さんのCDを流し、宮井さん一色に染まりました。

これまでにコンサートに行ったことがない児童も、コンサートの楽しさを味わい、コンサートへ行ってみようという気持ちが強くなったようです。

前回の演劇に続き、「芸術」を感じることができた宮井紀行さんのコンサート。このコンサートで、演奏を聴くことが好きになったり、歌を歌ってみたいと思ったりして、さらに感性豊かになってくれると嬉しいです。



1月の行事予定

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 9日(火) | 始業式 |
| 13日(土) | 書き初め(硬筆・書写) |
| 16日(火) | 鹿児島学習定着度調査(1日目 国・理) |
| 17日(水) | 鹿児島学習定着度調査(2日目 社・算) |
| 19日(金) | 授業参観・学級PTA・がんがらちゃん家庭教育学級(学校保健委員会) |
| 25日(木) | 中学校入学説明会 |
| 26日(金) | 校内読書の日 |



◇ 今年も、大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

【お知らせ】

役員会で協議の結果、令和5年度のPTA新年会は「中止」となりました。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

みんな一生懸命がんばりました！！～校内持久走大会～

12月9日(土)

爽やかな青空の下、開催された校内持久走大会。全員がベストを尽くし一生懸命がんばってくれました。持久走大会が初めての1年生。2年生に遅れをとらないようにと必死に走る姿が印象的でした。全体的に運動が得意な2年生。昨年度の経験を生かし、快調な走りを見せてくれました。上級生と一緒に走ることによって少し緊張していた3年生。「先輩に負けずに。」という意気込みが見られました。いつも元気いっぱい4年生。走るのが苦手な人もいたようですが、全員が最後まで諦めず一杯がんばりました。普段は少しおとなしい5年生。でも本番は全員が「完走するぞ。」という気持ちを持ち、最後まで走り抜きました。そして、小学校最後の持久走大会となった6年生。最高学年らしい走りを見せてくれました。その姿は後輩たちの記憶に残るものになったことでしょう。

ゴール付近では、全員が大きな声で「がんばれ!!」と叫ぶ姿も。声援のおかげで、最後まで頑張ることができた人もいたようです。また、沿道でもたくさんの方々が応援してくださり、保健体育部の保護者の方々は安全に走れるようにと立哨指導に協力してくださいました。

多くの方々の御協力のおかげで全員が無事に完走することができ、心より感謝申し上げます。これからも「心も体もたくましい原田っ子」を目指して、体力づくりに励んでいきたいと思えます。



素敵なプレゼントありがとうございます。

12月8日(金)

毎年この時期になるとクリスマスプレゼントが届きます。プレゼントを贈ってくださるのは本校卒業生の原田留里子様です。

「本好きになって、たくさんの本を読んでほしい。」という願いと、自分の母校の子供たちが元気にすくすく成長してほしいという思いで、それぞれの年齢に合った本を選んでくださる原田様。毎年のクリスマスプレゼントを子供たちもとても楽しみにしています。

また、近くに来られる用事があれば学校を訪問し、学校や子供たちの様子を見にきてくださることもあり、こんなにも原田小を思ってくれる卒業生がいることに、私たち職員もとても心強く、心より感謝しております。今年も素敵なプレゼントをありがとうございました。



創立150周年記念もちつき大会～ドローン撮影～



新聞に掲載されました。～11月分～



志布志市立原田小学校
三年 高田 陽菜
※ 令和五年十一月二十四日
前日本新聞「あいち」に掲載

学習発表会の原田っ子フェスタが十五日にありました。5年生が発表しました。5年生のお姉さんが言っていた「未来の原田小がどうもおもしろかったです。」
その次は4年生の発表でした。「ちゅうしゃきの中に空気を入れたら、どこまでおせるか」という問題がありました。答えは、と中までおせるでした。答えがあっていたので良かったです。
わたしたち3、4年生は合唱と合奏をしました。けんぱんハートモニカを上手にできたのでよかったです。
また3年生はけきをしました。絵本「ちいちゃんのかげおくり」や、消防士の見学のことで、「3年とうげ」などを発表しました。少しきんちょうしましたが、上手にできたのでうれしかったです。来年の原田っ子フェスタもがんばりたいです。

新聞掲載

中学校でもよろしくお願ひします～6年生集合学習～

12月6日(水)

4月から中学校で一緒に生活を送ることになる、原田小、山重小・蓬原小・野神小の6年生が集合学習を行いました。

まずは自分たちの学校の紹介を行い、そのあとアイスブレイクでフルーツバスケットや輪くぐりをして、緊張している気持ちをほぐしました。次は全員で振りを付けて「にじ」を歌ったり、ペアになって「あんたがたどこさ」で体を動かしたりして、互いに距離を縮めていくことができたようです。最後はバスケットボールで交流。大人数でのプレーに戸惑った様子もありましたが、試合が始まるとチームの仲間と協力して楽しくプレーができました。

普段は複式学級で5年生を入れても12名で過ごしている6年生。大人数での活動に、最初は少し緊張している様子も見られましたが、活動を行っている間に少しずつ慣れ、4月からの生活が楽しみになったようです。

今回の集合学習で、他の学校の人たちと触れ合い、中学校生活への期待も大きくなったのではないかと思います。4月から中学生になる6年生。中学校に入る前に今できることをしっかりと身に付け、原田小の卒業生であることに誇りをもって、中学校に入学してくれると嬉しいです。



原田の子「人権標語」～人権週間作品～

十二月四日(月)から十日(日)まで人権週間でした。この期間は人権標語を考えたり、道徳・学活の時間に「人権」について考えました。また、全校児童と一緒に遊ぶ「フレンドリータイム」もあり、友だちとの仲もさらに深まったのではないかと思います。これからも「思いやり」あふれる原田小であってほしいです。

「がんばったね」といわれたら
うれしいな
一年 原 歩乃華

人けんは 地球にいる人を
まもるんだ
二年 平野 颯真

「ありがとう」
おくります
きみにもかんしゃ
三年 高吉 良哉

ちくちく言葉を使わずに
ふわふわ言葉を使って
相手をいい気持ちにさせよう
四年 北野 丞一郎

伝え方 相手の気持ちを 考えて
五年 山下あいり

困ってる みんなで支えて
助けよう
六年 川原 蓮愛

